



生涯学習センターだより

2017. 8. 29 (火)

8月号 (2017 年度第 4 号 : 通巻 13 号)

発行: 秋田県生涯学習センター

「生涯学習から地域づくりへ」

所長 高橋 保子



当センターの講座や研修の中には、秋田について学ぶものが多くあります。たとえば、実際にその土地に出かけ、その地域で活動しているガイドの方々に地域の紹介や案内をしていただき、先人たちが築いてきた歴史や文化、地域の人づくりなどを学び、自分の地域の将来について考える機会とするものです。

7月上旬に当センター主催の地域活性化研修で能代市檜山地域に伺う機会があり、檜山安東氏や多賀谷氏ゆかりの史跡や寺社仏閣を見て回りました。私の地元土崎にも安東氏の湊城跡があり、ガイドの方から檜山安東氏との関係をお大変詳しく教えていただきました。離れた二地域の関係や

史実を知り、改めて自分の地域について学ぶ意義や楽しさを強く感じました。

さて、最近では学校が地域の核として市町村と連携し、地域の行事、ボランティア等への参加、郷土芸能の伝承などを通して、地域を盛り上げ元気づくりに貢献している実践が多くなってきました。そして、そこには子どもたち自身が様々な体験を通して成長する姿があります。学校、家庭、地域が総出で行う人づくり、地域づくりへの取組は、生涯学習の根底に流れる考えにつながっていると思います。社会の変化が激しく先行き不透明な現在、地域のつながりや広がり将来に向けての明るい希望を生み出していくのではないのでしょうか。地域の中で自分がどのように生きていくのか、あるいは、どう地域と関わっていくのかを考えた時、そこに生涯学習がコミュニティの場として大きな役割を担っていくものと思います。

行動人

あきた



行動人についてご紹介します

潟上市の天王公民館で、中高生を対象とした学習支援事業「寺子屋てんのう」を主催している鈴木公貴さん（秋田大学4年生）をご紹介します。

鈴木さんがこの活動を始めたのは、学校以外にも自由に学習ができる場所や環境が必要だと考えていたことや、学生向けツアーでカンボジアを訪れた経験から、教育を通じて子どもの可能性や選択肢を広げられると実感したことがきっかけになっているそうです。

そこで、地元の天王公民館を拠点として、昨年1月から「寺子屋てんのう」をスタートさせ、中高生に勉強を教えています。勉強だけでなく、生徒たちが自分の生き方や将来のことも考えられるような場にしていきたいそうです。

また、秋田県の現状から、学校だけでなく、地域ぐるみで子どもの学習を支えるのが理想と考えているとのことで、「寺子屋てんのう」がそのひとつの形を示し、みんなが気持ちよく勉強し、過ごせる場をつくっていききたいと話してくれました。



Photo © Satoshi Takahashi



あきたエコマイスター県央協議会のみなさんをご紹介します



地球温暖化防止と環境保全に取り組んでいる団体です。奇数月の第3土曜日に当センター視聴覚室で役員会を開き秋田県内のエコロジーについて話し合っています。また、夏休みには、海や川の流木、山の木の実、建築廃材などを材料に「子どもエコ学習～ぼくとわたしの夏の工作宝物づくり～」を開催しています。当センター地下展示ホール会場には、毎年多くの子どもと保護者の方が足を運んでいます。夏休みの工作を通してエコロジーや地球資源の大切さを親子で学べる企画です。秋田の環境学習に大きく貢献されている方々です。



5月24日(水)から6回にわたり、行動人実践コース「ビデオで地域紹介をしよう」が開講されました。本コースは、地域の魅力について学びつつ、それを周囲へ情報発信するために必要な方法・技術も合わせて学ぶもので、学習者が「学んだことを生かして行動する」という行動人の姿に近づけるように実践的なサポートを行うことを目指しています。

今回は、あきたふるさと講座の「秋田市探訪」で、秋田港の歴史や役割、ポートタワー・セリオンの魅力などを学びました。それを踏まえて、3グループに分かれた本コースの受講者が独自に撮影や取材を行い、秋田港やセリオンの情報を発信する映像を制作しました。難易度

が高い船上からの撮影に挑戦したり、グループごとに連絡を取り合って自主的に編集作業を行ったりするなど、まさに行動人として積極的に講座に参加する受講者の姿が印象的でした。講師を務められた秋田ケーブルテレビの三浦明之氏は、単に自分が撮りたいものを撮るだけでなく、視聴する人の目線に立って「どのような撮影や編集を行うと情報が伝わりやすいか」をよく考える必要があると強調されていました。受講者が制作した映像は、9月17日(日)から23日(土)まで正午と午後10:00に秋田ケーブルテレビで放送されます。どうぞご覧ください。

◆ 展示ホール点描

8月3日(木)から27日(日)まで、美郷町在住の未来時計工房・小場裕之さんによる作品展示「逆回り時計と時計工作教室紹介展」を開催しました。

小場さんは1級時計修理技能士の技術を活かし、小学校の総合的な学習の時間に「時計教室」を開いています。針が普通の時計と逆に左回りする仕掛けを組み立てることで、時計のメカニズムを理解できるそうです。また、左回りの時計の盤面から時間を読み取ることに慣れるまでが大変で、これが脳のトレーニングになるそうです。

今回の展示では、説明パネルで逆回り時計の作り方を解説するとともに、これまで製作した時計の数々を紹介していただきました。来館された方の多くは、最初、文字盤の並びと針の進む向きが普通と逆の時計を見てびっくりしていましたが、発想のおもしろさから時間の読み取りをゲーム感覚で楽しんでいたようです。また、学校の夏休み期間に開催したため、子どもたちにもたいへん喜ばれました。



♣ 講座予告！ - 9～11月開催予定の講座より -

あきたスマートカレッジ：あきた教養講座

【行動人実践コース】地方創生ファシリテーターになろう

若い世代向けの講座です！

※ファシリテート (facilitate : 促進する)

- ① 9月 7日(木) 「地域の課題を把握し、仮説から検証することの大事さを知ろう」
 - ② 9月 16日(土) 「地域活性化の実態について学び、その方策について議論しよう」
※この回のみ生涯学習センターにて実施します。クオリティ・オブ・ライフ「地方創生が叫ばれる時代の『地域おこし』を考える」を受講後に振り返りの議論をします。
 - ③ 10月 5日(木) 「様々なファシリテーションの方法を知ろう」
 - ④ 10月 19日(木) 「ファシリテーションスキルを生かして、地域に役立つ自主企画を考えよう」
 - ⑤ 11月 2日(木) 「地域に役立つ自主企画の具体的な準備を進めよう」
 - ⑥ 11月下旬予定 「地域に役立つ自主企画を実践・運営してみよう」
- ※①③④⑤ 【トワイライト講座】 19:00～20:30、② 13:30～16:00、⑥日時や会場は受講者が設定

講師：株式会社あきた総研 代表取締役 須田 紘 彬 氏
秋田県生涯学習センター職員

主会場：株式会社あきた総研 [秋田市手形西谷地 86 番地 4 : 2 階]

お申込み・お問合せ 秋田県生涯学習センター ☎ 010-0955 秋田市山王中島町 1-1



TEL:018-865-1171 / FAX:018-824-1171 / E-mail:sgcen002@mail2.pref.akita.jp